

海運と

気候変動

日本海事センター 企画研究部 上席研究員 森本清一郎



⑫

世界2位の経済規模を有する中国において気候変動は重要な政策課題だ。今回は2030年までの排出量ピークアウト、60年までのカーボンニュートラル実現を目標に掲げ、21年から発電分

での排出量ピークアウト、60年までのカーボンニュートラル実現を目標に掲げ、21年から発電分

を伸ばしている。中国は補給している。世界シェアは5割に達し、鉄鉱石や原油、LNGなど大量の資源エネルギーを輸入し、アジア発欧州向けと北米向けコンテナ航路では中国発の貨物量において世界最大シェアを占める。中国政府は23年12月に「船舶製造業グリーン発展行動綱要」を発表し、25年までにLN

を発展を図る上で次世代燃料船や省エネ技術のシェア拡大がカギとなる。これらの技術で強みをもつ日本の造船・船用工業が競争力を発揮できるような造船業再生基金を生かした生産性向上に向けた取り組みが必要となる。さらに新技術の導入を海運分野で公正な競争条件をいかに確保するかが課題となる。今年1月には米政府が中国の海事分野での不公正な慣行が競争を阻害していると指摘し、その後の両国の貿易措置の応酬につながった。市場をゆがめる措置は過剰船腹をもたらすなど産業全体の利益を損なう。気候変動への対応が求められる中、海運市場の安定的な発展に資する健全な競争環境の整備が重要となる。

存在感を高める中国海運

野で排出量取引制度を開始。太陽光や風力など再生可能エネルギーによる発電量シェアを3割に伸ばすなど対応を進める。

中国は世界最大の輸出国として膨大な物流需要を抱えるなど海運分野でもますます存在感を高めている。中国造船所の建造量は背景に中国船社も船腹量

を伸ばしている。中国は補給している。世界シェアは5割に達し、鉄鉱石や原油、LNGなど大量の資源エネルギーを輸入し、アジア発欧州向けと北米向けコンテナ航路では中国発の貨物量において世界最大シェアを占める。中国政府は23年12月に「船舶製造業グリーン発展行動綱要」を発表し、25年までにLN

中国は世界最大の輸出国として膨大な物流需要を抱えるなど海運分野でもますます存在感を高めている。

中国は世界最大の輸出国として膨大な物流需要を抱えるなど海運分野でもますます存在感を高めている。

中国は世界最大の輸出国として膨大な物流需要を抱えるなど海運分野でもますます存在感を高めている。

中国造船所の建造量は背景に中国船社も船腹量

中国造船所の建造量は背景に中国船社も船腹量

中国造船所の建造量は背景に中国船社も船腹量